



入院生活における感染予防について



神戸市立医療センター中央市民病院では、患者さんに安心して療養生活を送っていただくために、病院スタッフ一丸となって感染対策に取り組んでおります。以下の点につきまして、患者さんご本人および付き添いのご家族の方にも感染対策にご協力をお願いいたします。

- 感染予防の基本は手洗いです。食事の前、検査・リハビリのあと、トイレのあとなどは石けんと流水で手を洗いましょう。（廊下に設置されたアルコール消毒剤をご利用いただいても結構です）。



- 咳やくしゃみが出るときは、マスクの着用をお願いいたします。また、咳やくしゃみをした（痰や鼻汁に触れた）後には、手を洗いましょう。



- 過去に耐性菌の検出歴がある場合、または新たに耐性菌が確認された場合は、他の入院患者さんへの伝播を防ぐために医療従事者は手袋やガウン、マスクなどを着用します。
- 院内感染を予防するために、個室などの部屋へ移動をお願いすることがあります。また、ご家族や面会者に手袋やガウンをつけて頂く場合があります。
- 面会者に下痢・嘔吐・発熱・ひどい咳などの症状がある場合やインフルエンザ・感染性胃腸炎・麻疹・水痘と診断された場合は原則面会を控えてください。また、状況によりお子様連れの面会をご遠慮いただく場合があります。



分からない点や疑問がありましたら、どうぞご遠慮なく
医師や看護師にお尋ねください。